

## 楽しい夏のバカンスは、心の備えを忘れがち。

うっとうしい梅雨が終われば、いよいよ夏。——  
 楽しいレジャーシーズンの到来です。今年も家族で、職場の仲間で、友達同士でと、多くの人が海や山に楽しい旅行の計画を立てていることでしょう。しかし、夏は楽しいことばかりではなく、危険もいっぱい。新聞には毎年、海水浴や釣りで「波にのまれて行方不明」、「山で登山中に雷にあってケガ」などといった悲しい記事が後を絶ちません。旅先ではつい気が緩みがちになったり、暑さで頭がボーッとしてしまうこともあります。旅行は楽しい思い出をつくるものです。楽しいレジャーを計画中の皆さん。お出かけの際には、旅先での災害や事故などにあわないよう、くれぐれも正しい知識と心の備えを忘れずに。

# 備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。  
 そなえる…用意する、そろえる、用心する  
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。  
 そなえ…したく、用意、警戒、防御  
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。  
 そなわる…準備ができる、身に付く  
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!



1989  
7

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	.	.	.	.	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	.	.	.	.	.

■毎月15日は川崎市民地震防災デーです。



かわさき NO  
防災広報紙

1989年(平成元年)6月30日発行  
 発行◎川崎市  
 編集◎土木局防災対策室  
 〒210川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL. (044) 200-2111内線2841

# 59





# 津波

つなみ

## 暑さを逃れて、山へ海へ。 しっかり災害からも逃れましょう!

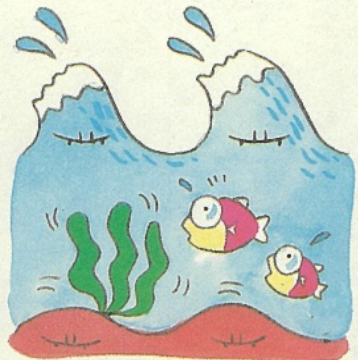
# 雷

かみなり

昭和58年5月26日の日本海中部地震（マグニチュード7.7）では、地震発生約7分後（津波警報発令前）に襲った津波により、青森、秋田両県の日本海沿岸で100人の犠牲者を出しました。この災害は、津波の恐ろしさを改めて私たちに教えてくれました。

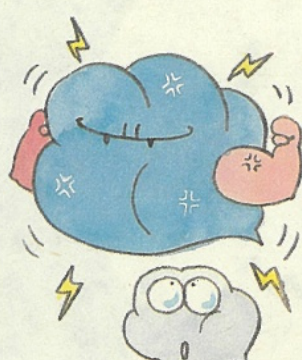
ピカッ/ゴロゴロゴロゴロ  
夏は、一年で雷の一番多い季節です。これから夏休みに入り、山へ出かける機会も多くなりますが、山での雷は、とくに危険です。いざというときのために雷について正しい知識を備えておきましょう。

**高さ**  
平均水面上に上った津波の高さだけでいうと、最も高い記録は、一九五八年、アラスカのリツヤ湾奥で陸上の地滑りによって発生した津波でなんと、五一メートル、

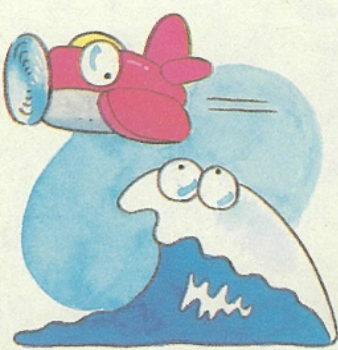


**発生の原因**  
地震津波の原因は、大地震の発生に際して海底の広い地域が急激な隆起又は陥没を起し、そのため、海水が持ち上げられたり、落ちこんだりして、大規模な海水の擾乱が四方に伝わり津波となります。

**発生のおこみ**  
夏の雷は、強い日射しによって、地表付近のしめった空気が暖められ、異常に強い上昇気流により、



**惨事**  
昭和42年8月1日、西穂高岳を下山中の松本深志高校生の一行に落雷し、一度に11名の命が奪われました。快晴の早朝に登山を開始した一行は、昼過ぎになってガスに包まれました。やがて雷をまじえた雨が降り出し落雷の危険を悟ったが、尾根の一本道を離れることが出きずついに落雷し、大きな惨事になってしまいました。



**速さ**  
津波の速さは、水の深さによって変わります。たとえば、水深百メートルの海では、時速一四キロメートル、水深四〇〇メートルでは、時速七九四キロメートルというように、深い海ほど速いのです。ですから、太平洋深海においては、プロペラ機よりも早いのです。

**避難**  
近距離で地震が起ると、津波注意報、警報よりも早く津波が来ることもあるので、地震を感じたら近くの高台へ、無ければ、鉄筋コンクリート造りの建物に避難しましょう。また津波は、一回で終ることはないのです。津波注意報、警報の解除を確認するまで、避難した場所にとどまるようにしましょう。

**雷光の破壊力**  
雷雨のときは、2つかそれ以上いくつもの雷雲が次々と発達し、その活動期には百万キロワットの発電能力があり、第一級の発電所なみのパワーをもちます。また、雷の電圧は、約2億ボルトに達し、使われるエネルギーは、数千キロワット/時にあたります。

**雷鳴のおこみ**  
雷の通り道にある空気は、瞬間的に3万度もの高温になって急膨張します。このときの空気の振動する音が雷鳴となつてとどろくのです。



### 3 こちらお天気情報室

うっとおしい梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏シーズンが始まります。

さて、夏の暑さを表現するのに、夏日（日最高気温が25℃以上の日）、真夏日（日最高気温が30℃以上の日）、熱帯夜（日最低気温が25℃以上の日の夜）などが使われますが、日本の最高気温の記録はどこで、何度ぐらいだと思いますか。

南の端の沖縄かと思われた方が多いでしょうが、実は、本州の北の山形市が40.8℃（昭和8年7月25日）という日本の最高気温記録をもっているのです。

日本の暑さの記録を調べると、東日本や山間部、雪国などが多くなっていますが、この謎を解くカギは、フェーン現象です。

太平洋から山脈を越えて、カラカラに乾燥した熱い風が、こんな異常高温をもたらすのです。



## 防災講演会

広く市民の皆さんに地震防災について関心と理解を深めていただくために毎月15日を川崎市民地震防災デーと定め、各種の広報活動を行っていますが、このたび防災啓発の一環として防災講演会を開催しますので奮って参加してください。

日時 7月27日(休)午後2時30分～4時

場所 川崎市産業振興会館大ホール(幸区堀川町)

内容 テーマ「安全について考える」  
講師 吉村秀實(NHK解説委員・元エースセンター630キャスター)  
申込み・問合せ 川崎市土木局防災対策室(200-2840)  
※会場の都合により、定員になり次第締切らせていただきます。

## 多摩防災 コミュニティ 基地 完成

多摩区菅田堤の稲田公園内に、市内五つの防災コミュニティ基地が完成しました。

この基地は、災害用備蓄倉庫の機能に加えて、情報の受伝達機能や応急医療機能をあわせもち、災害時における応急救護活動の拠点となります。